社協だより

第176号
2017.12.1
点字・墨字版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会　〒822-0034　直方市大字山部616-145
TEL 0949 (23) 2551　FAX 0949 (23) 2552
e-mail : nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp　HP : http://www.nogatashakyo.org/

福祉施設×商店街
懐かしの昭和街道

平成29年10月22日に古町商店街に、市内11福祉施設から約300人が集まりました。普段外出の難しい入居者の皆さんの楽しみになればと、今年初めて開催されました。（詳しくは３ページの地域の輪へ）

もくじ

●若年性認知症…… 2
●地域の輪（遊びにおいで商店街へ、一日限りの昭和街道）
情報の広場（ひだまりの会・重症心身障がい児(者)を守る会直鞍分会）
図書室（九十歳。何がめでたい）…… 3
●お知らせ（もちつき会開催・福祉まつりお詫び・おもちゃ図書館クリスマス会・九州北部豪雨災害義援金）
ご寄付（エンド☆ラスト・ゆいの会）…… 4

kantera カンテラ

社会の繋がり

平成29年7月5日に九州北部豪雨が発生し、私は朝倉市災害ボランティアセンター運営のお手伝いに行きました。その際、人と人との繋がりを目の当たりにしました。毎日、大勢のボランティアさんが、市内、県内外、遠くは北海道からと、様々な場所から来てくださいました。ボランティアセンター運営スタッフの方々も休みなく活動されていました。

近年、人と人の繋がりが希薄になっているとよく聞きますが、こんな素敵な方々がいる世の中が希薄な人間関係なのでしょうか。単に活躍する場がない・場を知らない・活動内容がそぐわない等の理由があるだけなのかもしれません。周りを見てみると人は繋がっていると感じました。

復興はこれからも続きますが、皆様のご支援もあり、災害ボランティアセンターは終了となりました。ご協力ありがとうございました。（N）

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。

若年性認知症

その物忘れ、本当に疲れのせいですか？

若年性認知症とは？

認知症と聞くと、高齢者になってから発症するイメージがあるかと思いますが、認知症は高齢者だけが発症するものではなく、若い世代でも発症することがあります。65歳未満の人が発症する認知症を総じて「若年性認知症」と言います。

多少の物忘れがあっても、「認知症は高齢者がなるもの」という印象が強いため、本人も周囲も認知症を疑わない場合が多いようです。ちょっとした失敗や物忘れが続いてもストレスや、疲れや、更年期などのせいにしがちです。そのため、発症してもなかなか気付かず、診断が遅れる可能性が高いのが若年性認知症の特徴の一つです。

どんな症状があるの？

症状や対応方法・注意点は認知症と同じですが、年齢が若いほど脳の萎縮が速いため、進行スピードは認知症より若年性認知症の方が速いと言われています。

「忘れっぽくなった」「同じものを買ってくる」「仕事の段取りがうまくいかない」「失敗が増える」「やる気が起きない」などと感じた場合、若年性認知症の可能性があります。また、以上のことは本人が感じにくいこともありますので、家族や周りの方たちが、何かおかしいなと気付いた場合は、受診を勧める必要があります。

若年性認知症は、早期に診断を受けることが大切です。症状を抑える治療を早い段階から受けられる、将来に向けて家族が話し合う時間が取れる、自治体や医療機関のサポートを早いうちから受けられるなどの利点があります。

本人がその人らしく生き続けるためにも、家族の負担を和らげるためにも、初期対応がとても大事なのです。

認知症相談

認知症の人と家族の会直方が、認知症相談を行っています。認知症について知りたい・相談したい、話を聞いてほしい、使えるサービスを聞きたい、家族が認知症かもしれないなど、どうぞお気軽にご相談ください。

日時：毎月第4水曜日13時～16時
場所：直方市総合福祉センター
（直方市山部616番地145）
お問い合わせ：直方市社会福祉協議会

認知症の人と家族の会　直方を取材して

超高齢社会に向かいつつある日本で看過できないのが、認知症と言われています。2012年の調査で軽度認知障害（MCI）と呼ばれる予備軍が400万人いることも分かりました。また、近年は若年性認知症についても関心が高まっています。

「認知症の人と家族の会直方」の世話人代表「宗廣壽美子さん」から直方市の認知症の現状を伺いました。

「私の知っている若年性認知症の方は、普段乗っているバスから降りる場所が不安になって発症に気付くことができました。その方は認知症の認定を受けてからデイサービスに行ってみたのですが、そこに居たのは自分よりかなり高齢の方ばかりで、ここは自分の居場所ではないと思ったそうです。若年性認知症の方はそういった独自の悩みを抱えることになります。若年性認知症の場合、発症から先の人生が長く、認知症と付き合っていかなければならない時間も長いです。少しでも気になったら初期から相談をしてください。本人でも家族でもよいので、一人で悩まずに相談してください。

認知症の人と家族の会直方が出来て24年を迎え、会員は111名まで増えました。介護保険制度が創設され、保健・医療・介護・福祉等のサービスが充実してきました。これからもボランティアや地域の方々に認知症に関する正しい理解を広め、認知症の人や家族が安心して暮らせる街にしていきたいので、学習会や啓発活動に取り組んでいきます。」とお話を伺いました。

一度きりの人生を有意義に全うするためにも、私も是非認知症について学んでみたいと思いました。（石黒）

世話人代表の宗廣さんに取材しました。

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。

地域の輪

地域に根ざした独自の福祉活動をご紹介します。

遊びにおいで商店街へ
一日限りの昭和街道

10月22日の日曜日、かつて歴史と伝統の「直方五日市」で賑わった古町商店街が、往時にタイムスリップしたかのような賑わいを見せた。ずらり並んだ特設屋台、焼きソバにお好み焼き、ジュースに射的まで…。まるでお祭りの様。アーケードの下は、先が見通せず、通り抜けもできないほどの人ごみ。まさに往時の五日市。

杖や車いすを使っている高齢者、名札をさげた介助のスタッフ、高校生ボランティアなど、色々な人があちこちと動き回り身動きできない。

中央部の仮設ステージでは、直方第二中学校の吹奏楽や、大和青藍高校の和太鼓が商店街を盛り上げ、鳴り響いている。来合わせた買い物客たちとともに大きな拍手と声援を受けながらダンスや歌、そしてチンドン屋まで披露され、最後は古町中区保存会の優雅な伝統「日若踊り」が行われた。

ある老人ホームの入居者さんの「直方五日市に行きたい」との要望から発展的に今回の大掛かりな計画へ進んだとのこと。通常、入居者さんの外出の楽しみを叶えることは簡単ではなく、どの施設でも頭を悩ませること。そこで、有志の施設に呼びかけ「直方地区高齢者レクリエーション実行委員会」を立ち上げ、直方市内の11賛同施設と合同で今回の開催にこぎつけた。

商店街各店と多くの当日出店者、一般企業、中学・高校など、多くの方に協力いただき、参加者総勢300人余の一大イベントとなった。終了後は、笑顔で「またやって！」との声を聴くことができた。（広田）

情報の広場

重症心身障がい児(者)を守る会　直鞍分会　クリスマス会

今年も残り1ヶ月となりました。親子で参加できるクリスマス会を行います。親子で歌やゲームを行ったり、ボランティアさんとふれあったりします。今年は音楽セラピーも行いますので、より楽しいものになりそうです。

たくさんの方の参加をお待ちしています。

●日時
平成29年12月9日（土）
13時30分～15時30分

●会場
つむぎの里
（直方市上境1467）

●参加費　無料

●対象
在宅の障害をお持ちのお子さんと、その家族と支援者

●問い合わせ
会長　橋本
TEL 0949（28）2531

ひだまりの会　交流会

ひだまりの会は、「障害があっても地域で共に暮らしたい」をテーマに活動を行っています。会の活動としては、福祉関係の行事へ参加したり、定例会でこれからの予定や近況などを話したりしています。また、ちょっとした体操や手遊びもします。

定例会とは別に、食事をしながらの交流会を計画しました。参加をお待ちしています。

●日時
平成29年12月20日（水）
11時～13時30分

●会場
丸窓（直方市日吉町13－1）

●参加費　500円

●対象
障害児者の家族または支援者

●問い合わせ
会長　田中
TEL 0949（22）2099

図書室

「九十歳。何がめでたい」
著者　佐藤　愛子
発行所　小学館

直方市立図書館所蔵

黒柳徹子さん、瀬戸内寂聴さん、冨士真奈美さん、安藤優子さん、辻村深月さん、みなさん笑って泣いて大絶賛。

とにかく面白いんです！

著者の佐藤愛子氏は最後に書き上げた長編小説「晩鐘」の後、のんびりと暮らしていたが、親しい人には先立たれ、ちらほら残っている人も体調が芳しくなく、人付き合いも減って、ウツウツと過ごしていたとき、たまたま来た仕事がこのエッセイだったという。したがってブランクで錆びついた頭を動かす為、ウツウツとした気分で、半ばヤケクソで書き上げた内容らしく、いたるところに怒りや嘆きが詰まっている。

声を出して笑ってしまいますので、周りに誤解されないよう一人で読んでくださいね。（広田）

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。

ご存知ですか？ 直方市総合福祉センターでは、カラオケが無料でご利用いただけます。詳細等お気軽にどうぞ。 TEL0949(24)9030

もちつき会を開催します。

■日　時：平成29年12月17日（日）
　　9時～13時
■会　場：直方市総合福祉センター駐車場
　　（直方市山部616-145）
■お問い合わせ　直方市社会福祉協議会

平成29年度福祉まつり中止のお詫び

平成29年10月22日(日)実施予定でした福祉まつりは、台風21号の接近に伴い、やむなく中止とさせて頂きました。ご迷惑お掛けいたしましたことを、お詫び申し上げます。また、ご支援いただいていました皆様、ご協力ありがとうございました。

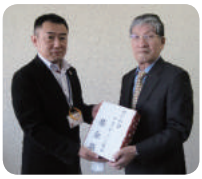
今後ともよろしくお願いします。

九州アートトラック愛好会　エンド☆ラスト　チャリティー撮影会にて寄付

9月23日に行われた、チャリティー撮影会の収益金を直方社協並びに飯塚社協に寄付していただきました。エンド☆ラスト皆様のご好意に感謝し、いただいた寄付金は、地域福祉推進のため、大切に使わせていただきます。

直方市精神保健福祉ボランティア「ゆいの会」　チャリティー上映会にて寄付

11月6日に行われた、チャリティー上映会の寄付金を直方社協に寄付していただきました。ゆいの会及びご協力いただいた皆様のご好意に感謝し、いただいた寄付金は、地域福祉推進のため、大切に使わせていただきます。



編集後記

「直方市議会では、何が話し合われ、どんなことが決められているのか？」今まで気になっていても、車いすで生活している私は傍聴までは至らずに、「のおがた議会だより」より情報を得ていました。

ところが今年3月から、直方市公式サイト内の直方市議会のページより、「市議会インターネット配信」が開始されました。私のような移動制約者にとってもありがたく、自宅のパソコンにて「議会傍聴」しています。（藤田）

おもちゃ図書館のおがた　クリスマス会を開催します

おもちゃ図書館のおがたでは、みんなで遊んで、歌ってのクリスマス会を開催します。

ぜひお子さんと一緒に遊びにきてください。

■日　時：平成29年12月9日（土）
　　10時～12時ごろまで
■会　場：直方市総合福祉センター　2階集会室
　　（直方市山部616-145）
■主　催　おもちゃ図書館のおがたスタッフ会
■お問い合わせ　直方市社会福祉協議会

共同募金会　平成29年　九州北部豪雨災害義援金　中間報告

平成29年7月5日に九州北部豪雨災害が発生し朝倉市・東峰村・添田町に災害救助法が適用されました。皆様のご協力により、義援金が集まっており、平成29年11月10日時点で、直方市では309,733円が集まっています。引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。

■ 募集期間
　平成29年7月10日～平成29年12月28日
■ お問い合わせ
　福岡県共同募金会直方市支会
　TEL　0949（23）2551

ご寄付ありがとうございます。

平成29年8月11日から平成29年11月10日
9件　合計金額　287,640円
（お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略）

香典返し寄付金

- 植木　（故）伊藤　福義
- 山部　（故）石黒　はる
- 感田　（故）森田　吉治
- 上境　（故）竹内　数枝
- 下境　下田　美智子

一般寄付金

- 医療法人　健明会
- 九州アートトラック愛好会エンド☆ラスト　会長　熊谷　博幸
- 直方市民生委員児童委員協議会
- 直方市精神保健福祉ボランティア「ゆいの会」

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。